

股関節手術のために入院された患者さん・ご家族の方へ

「大腿骨骨折部皮質骨の硬組織微細構造に関する研究」にご協力をお願い

社会医療法人同愛会博愛病院・整形外科では、大腿骨頸部骨折（太ももの付け根の骨折）で手術を行った方の廃棄処分する骨の一部を頂いて研究を行ってきました。その結果予想外に骨の劣化の激しいことが明らかになりました。今後更に症例の数を増やして病態を解明し、高齢者の骨折の予防・治療に役立てたいと思っております。

この趣旨に賛同し、ご協力頂きますようお願いいたします。

記

1. 試料の採取

股関節手術で骨頭を摘出して人工骨頭に置換する場合、取り出した大腿骨頭は病院で廃棄処分していましたが、廃棄する前に骨頭から骨小片（1×1×2 cm）を切り出して研究の試料とします。その後の骨頭は従来通り規則に従って廃棄処分いたします。

2. 試料の処理

骨小片は80%アルコールで固定し合成樹脂に包埋した後、100ミクロンの厚さとし、軟エックス線撮影をして、その写真をコンピュータで解析します。

3. 研究期間

この研究は、2024年3月30日までの予定です。

4. 成果の発表

研究結果は骨粗鬆症学会、骨代謝学会、整形外科学会などで発表します。

5. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、個人を特定できる情報を一切排除し、プライバシーの保護に万全の配慮をいたします。

6. 研究への情報提供による利益・不利益

利益：今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございません。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益：使用に同意されない、また、同意後撤回の場合であっても、資料上の不利益を受けることはありません。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めに希望された場合でも、担当医や他の職員と気ますくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表の際、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は社会医療法人同愛会博愛病院に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口・研究施設および研究責任者

本研究のご質問、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

中村達彦 社会医療法人同愛会 博愛病院 診療部 整形外科 主任部長

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1880 TEL：0859-29-1100

（改訂：2023年8月）